とくしまのがんばる企業を応援します
Tokushima
2022 August
No.469
企業情報とくしま
(公財)とくしま産業振興機構
www.our-think.or.jp

徳島の企業

船場化成株式会社 / いろんなものを包み込んで60余年　未来志向の総合資材メーカー

Contents

徳島の企業 …… 02
船場化成株式会社

とくしま起業人 …… 04
- 子育て支援スペース kids place
- 藍茶専門店こはる日和

事業紹介 …… 06
平成藍大市参加事業者紹介

事業紹介 …… 08
令和4年度徳島わくわく創業支援補助金採択事業者の紹介

徳島クリエイターズ・ライブラリ …… 09
登録クリエイター紹介

社会保険労務士から一言 …… 10
令和4年10月からのパート・アルバイトへの社会保険適用拡大 事前チェックと準備

徳島県よろず支援拠点 …… 12
資金繰りがうまくいかない場合の対処方法

平成長久館セミナー一覧 …… 14
近日開催の平成長久館セミナー一覧

アジア展望～上海事務所だより～ …… 15
訪日観光旅行再開に対する中国旅行会社の見解

会館だより …… 16
補助金・支援金情報

Pick up News

関連記事 P2

環境負荷低減を実現する製品

地球温暖化や二酸化炭素削減など地球規模の課題解決へ取組みも使命と考え、3R（トリプルリデュース）やカーボンニュートラル商品づくりを行っている。生産過程において出る端材を再利用したカルデコバッグは、タイヤなどの大型製品梱包用や梱包書籍用バッグなどに使われる。あわせて、船場化成独自のインフレーション技術によって、ポリエチレンフィルムを0.013mmまで薄くすることができ、その結果、焼却時の二酸化炭素の発生量を低減、原材料を節減、製造コストを削減している。

船場化成株式会社

持続可能な未来のために ポリエチレン製品の可能性を追求する

毎月1,000トンを出荷中。地球温暖化や二酸化炭素削減にも向き合い高品質な製品を作る安心・安全なものづくり

代表取締役　美馬 直秀氏

（左）人事・経理課長　黒川 真吾氏
（右）総務部長　村田 道彦氏

社製品　カルデコ＋バイオ

本社ビルのショールームには、船場化成株式会社（以後船場化成）で作られている多くの商品が展示されている。買い物をしたときにもらうファッションバッグや、ゴミ袋など私たちの暮らしに欠かせない商品もある。船場化成は、その名のごとく、徳島市東船場町、夏には阿波おどりのぞめきが聞こえてきた場所で、船場ビニール株式会社として産声をあげた。1959年のことである。翌年には、船場化成株式会社と社名を変更。それから60余年を経て、現在では、毎月1,000トンを出荷するポリエチレンフィルム製造・販売を主とする包装資材メーカーとなった。長さにすると、地球を10周包み込むほどの長さになるという。近年、売上げが毎年5%ずつ右肩上がりで、2022年度は、過去最高売上となる見込みだ。現在の本社は、徳島市国府町にあり2011年に完成した新社屋は、近代建築を思わせるスタイリッシュなコンクリートの外観と光をふんだんに取り込む吹き抜け構造が特徴的だ。この本社には、国府工場が併設され、阿波市西長峰に主力工場がある。この工場は、敷地面積1万坪。敷地内には3つの工場があり、原料の調達から出荷までを行っている。また、営業拠点は大阪、東京、名古屋に構えている。さらに2019年には福岡県にある福岡ポリ株式会社と、2021年には青森県にある三信包装株式会社と資本提携し、製造拠点も増えてきている。その躍進の屋台骨を支え、さまざまな改革に取り組む総務部長の村田道彦氏と人事・経理課 課長黒川真吾氏にお話を伺った。

国内最大級のインフレーション機と最新鋭の印刷機

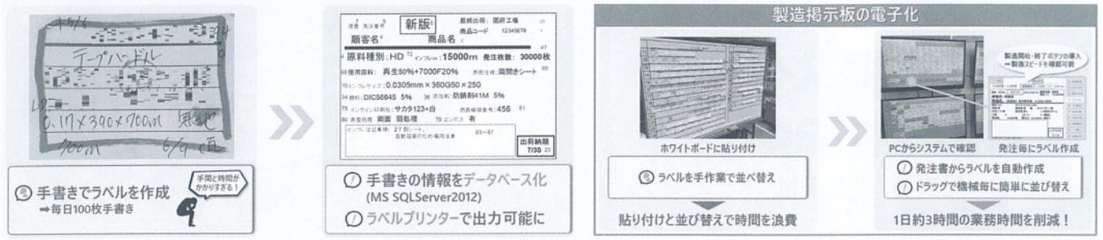
船場化成の大きな強みとして、原料の調達、ポリエチレンフィルムの製造から、印刷、製袋まで一貫して生産できる体制を整えていることが挙げられる。その工程は、まず各地の営業拠点から、毎日約100件の注文が入る。その注文は、総務部を通じて西長峰・国府の工場長に伝えられて、生産計画が立てられる。その後、発注内容に応じて原料となるポリエチレンペレットを調達する。インフレーションは、袋の生地を作る工程で、製造と呼ばれる。ポリエチレンペレットを溶かし、中に空気を入れて膨らませ、上空へ吹き上げて、風船のように薄い膜を作り引き伸ばすことで、ポリエチレンフィルムができる。これを巻き取り、ロール状にし、これに印刷を行った後、製袋を行う。

船場化成では、幅広い製品づくりに対応するため、国内最大級のインフレーション機を備え、2,650mm幅の大きなポリエチレンを生産することもできる。また、毎分最大400mmを印刷できる超高速フレキソ印刷機や、12色のグラビア印刷機は、美しい高品質な商品を生み出している。一般的にインフレーション部門を製造、印刷部門を加工と言い、船場化成のように、インフレーション部門と加工部門を一緒に行うことは、原料のポリエチレンペレットの調達や保存などがネックとなる。船場化成では、長年培った原料調達ラインと、西長峰工場という広いスペースで温度管理を行った保管庫で原料を保存できる。また、インフレーション部門で生産したロール状のポリエチレンフィルムのみを加工会社に向けて出荷も行っている。

地球環境に配慮した製品たち

一口にポリエチレン包装資材といっても、レジ袋やゴミ袋から、自動車の部品や工作機械の保存に最適なサビ止め加工をしたサビレスフィルムを使った防サビ袋、会社説明会やダイレクトメールの袋、ウインナーなどの食品の袋、収穫した野菜などを束ねるカルペーパーなど商品のラインナップは実に多彩だ。

また、地球温暖化や二酸化炭素削減など地球規模の課題解決へ取組みも使命と考え、3R（トリプルリデュース）やカーボンニュートラル商品づくりを行っている。生産過程において出る端材を再利用したカルデコバッグは、タイヤなどの大型製品梱包用や梱包書籍用バッグなどに使われる。あわせて、船場化成独自のインフレーション技術によって、ポリエチレンフィルムを0.013mmまで薄くすることができ、その結果、焼却時の二酸化炭素の発生量を低減、原材料を節減、製造コストを削減している。また、カーボンニュートラルを実現したバイオSPB/バイオL-1という商品は、サトウキビ由来のバイオエタノールから精製したポリエタノールを原料としたもので、レジ袋やゴミ袋等に使われている。サトウキビは、空気中の二酸化炭素を取り込むため、ポリエチレンが焼却時に排出する二酸化炭素をサトウキビが光合成で吸収することによって、原理上二酸化炭素量の増減をプラス・マイナスゼロとすることができる。近年は、株式会社カネカの100パーセント植物由来の原料を使った海洋生分解フィルムを製造し、海洋汚染の低減に貢献している。



システム活用事例1　システム活用事例2

従業員をリスペクト、次代へ向けて

このように、最新機器を備え、高品質な商品を作り出す船場化成会社案内のリクルートパンフレットには、完成した商品を手に持つ笑顔の従業員の姿がある。実は、数年前まで、離職者が絶えなかった職場だったというから驚きだ。150人の従業員数で、30人規模での退職者があると、5分の1が入れ替わることとなる。経験を積んでいる残った授業員の負担が当然増える。残業100時間というのも普通となり、残った従業員も疲れ切っていた。

これではいけない。現社長の体制となり、社長自らが中心となって、社をあげてやめない仕組みづくりに取りかかった。具体的な取組みとして、勤務時間を8時間から7時間に変更、三交替の勤務体制は、4勤1休と4勤2休を休みを挟んでシフトが入れ替わるようにした。工場では、冬はカイロ、夏はクーラーベストを支給。「ささやかな気持ちなのですが」と村田氏は謙遜するが、冬は寒く、夏は暑くなる工場内ではあるとないのとでは大違いだ。ウォータークーラーも完備した。工場内に従業員がゆったりとくつろげ、交流もできるスペースとなる今までになかったカフェテリアも作った。

従業員の評価を決める人事考課では、直属の上司である課長、部長だけではなく、村田氏、黒川氏も従業員の話を聞く。人事考課のみならず、日頃から定期的に従業員の話を聞く機会も設けているそうだ。「皆、ものづくりが本当に好きで入社しています。もちろん、事情があって退職する人もいますが、仕事上の悩み、上司とのボタンの掛け違いなど私たちが入ることで解決できることもあります。よく話を聞いてみると、上司と部下、お互いが思い合っていることもあります」と黒川氏。話は、1時間、2時間に及ぶこともあると村田氏は言う。様々な取組みが認められ、2020年2月には、『四国でいちばん大切にしたい会社大賞』奨励賞を受賞した。『従業員の満足』なくして、『お客様の満足』はない。社会に貢献する順番として、船場化成では、まず『従業員の満足』を経営理念に掲げている。

「地域の人が働く人々の受け皿となることも大切で、雇用をしっかりと伸ばしていきたい」と黒川氏。地元徳島や県外で働く若者の中には、徳島には仕事がない、徳島へ戻っても仕事がないと思っている人も多い。ものづくりが好きな人たちが誇りとやりがいを持ち、安心して働ける場所を作る。そのためには、さらに設備投資や業績をあげることも重要だ。「近年の業績の好調は、ポリエチレンの需要拡大だけでなく、お客様の要望と真摯に向き合い、わが社しかできない高品質な製品を作っているからだと思います。今後も、徳島からしっかりと世界へ向けて、船場化成しかできない中小企業の技術力を発信していきます」次代へ向けて力強い言葉で結んでくれた。

（文責・ライター　川西洋子）

ITシステムを活用した工程管理

製造の作業風景

Company Profile

会社名	船場化成株式会社
所在地	徳島市国府町観音寺梨ノ木666-1
設立	昭和34年1月
資本金	5,000万円
従業員数	307人（関連企業含む） 232人（船場化成株式会社）
TEL	088-642-1414
FAX	088-642-1421
URL	https://www.senbakasei.com